

資源工学部会行事（講演会・見学会）開催実績

年度		月日	講演者 (敬称略)	講演タイトル / 見学先
和暦	西暦			
S58	1983	9. 13	藤田 公市	カナダにおけるコンサルタントエンジニアリング業務の体験
			山村 禮次郎	アメリカ及びドイツにおける石炭液化技術の研究開発の動向
		12. 13	田中 威	地熱エネルギーとその探査 《応用理学部会との合同講演会》
		3. 13	山村 禮次郎	石炭灰活用の研究動向
S59	1984	6. 12	細野 実	日中共同探査を通して、かいまみた新生中国の雑感
		9. 11	大渡 かい一郎	石灰石膏・セメント石膏による路盤の安定処理工法
		12. 11	渋谷 修	新しい地下水調査：単孔法による地下水の流速流向測定 《応用理学部会との合同講演会》
			藤本 正敏	ミストボーリングならびにサンプリング
		3. 12	武内 譲二	ウラン（核燃料）資源の開発と原子力発電の実情
S60	1985	6. 11	三輪 了	建設・交通に関する機械装置の最近の話題
		9. 17	遠藤 英夫	西サモアにおける海外技術協力あれこれ
		12. 10	高瀬 浩吉	石灰石鉱業界の最近の技術動向 《応用理学部会との合同講演会》
		3. 18	児玉 清臣	石炭鉱業の最近の動向
S61	1986	6. 14	芳野 重正	プレーサマイニングのプラントあれこれ
		10. 23	松尾 敏美	中米およびアフリカにおける資源開発の技術協力
		12. 90	亀谷 卓也	石油探鉱の最近の技術動向：主として物理探鉱 《応用理学部会との合同講演会》
		3. 1	児玉 清臣	地下の採掘技術、最近の動向
S62	1987	6. 9	田原 秀	土壌菌を利用した廃水処理法
		9. 22	西森 克己	異業種交流の現状
			大渡 かい一郎	特定地域中小企業対策臨時措置法に基づく技術開発支援事業の概要紹介
		10. 19	高橋 駒雄	中小企業指導の実際
		12. 8	久保 重明	国際間海底通信ケーブルの敷設ルート選定における海洋調査 《応用理学部会との合同講演会》
S63	1988	2. 8	西村 茂樹	バルクマテリアルズのハンドリング
		4. 12	鎌田 宏	石炭を用いた下・廃水処理
		6. 14	佐野 初雄	中国新疆ウイグル自治区と海南島の石炭資源
		8. 9	高島 清	北朝鮮雲山地方の金鉱山の開発
		10. 25	渡辺 慶輝	岩盤に対するAEの応用
		12. 13	瀬下 幸雄	公害防止工事の調査と設計 《応用理学部会との合同講演会》
		1. 24	藤田 公市	カナダにおける資源開発コンサルタント
		2. 14	大渡 かい一郎	中小企業談義：QCと職場の活性化
H1	1989	4. 18	青木 正行	インド ゴア鉄鉱山の開発
		6. 13	桑川 辰夫	深海底の鉱物
		8. 8	紫雲 千鶴雄	朝鮮阿吾地における石油合成
		10. 31	武内 譲二	品質管理：その活動のポイント
		12. 12	（見学会）	工業技術院 地質調査所：地質標本館 《応用理学部会との合同見学会》
		2. 13	小野寺 次郎	石炭の高度処理に関する最近の技術動向
H2	1990	4. 24	内田 二郎	最近の探鉱技術と鉱山事業におけるその経済性
		5. 19-20	（見学会）	八溝山地質及び藤井川ダム 《応用理学部会との合同見学会》
		6. 12	西村 茂樹	地熱に関する水質の話題
		8. 7	芳野 重正	エネルギーに関わる種々の話題
		10. 9	相場 三三	日本における石灰石鉱業の概要
		12. 11	佐藤 正	地質構造解析に関する最近の話題 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 19	佐野 初雄	シベリヤの資源と東欧の雰囲気
H3	1991	4. 23	村島 一郎	海外鉱山開発についての経験
		6. 11	神保 健二郎	海底炭田開発のための人工島
		8. 6	林 昇一郎	ウラン鉱石を探して世界の秘境に行く
		9. 13-14	（見学会）	日本COM、常磐共同火力勿来発電所、ガス化プラント、新八茎鉱山 《応用理学部会との合同見学会》 いわき市石炭・化石館
		9. 17	坂 光二	クウェートの油田火災の現状と油層に与える影響
		10. 8	児玉 清臣	助言の重み：技術士の反省
			佐野 初雄	東シベリア マガダン州の地質情報
		12. 10	畠山 武文	ダムと人間生活：ダム建設の歩みと現状 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 4	桑川 辰夫	トルコの白金調査
H4	1992	4. 14	伊藤 重信	現場事故の回避
		6. 9	渡辺 慶輝	ウォータージェット技術とその鉱業への応用
		8. 11	塩田 昭三	立坑を利用した無重力実験装置
		10. 15	金沢 敬	情報としての地図、世界の整備状況と最近のトピックス
		12. 8	岡田 博	地熱分布の地域性について 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 19	佐野 初雄	シベリア・サハリンの地下資源
H5	1993	4. 21	小野寺 次郎	灰分測定の技術動向
		6. 10	高橋 達也	ゼオライトの利用
		8. 10	匂坂 和夫	ホンジュラス並びにアルゼンチンの鉱業事情
		9. 2-3	（見学会）	袖ヶ浦コールセンター、奥尻島地震災害情報（西村茂樹氏） 《応用理学部会との合同見学会》 関東天然瓦斯茂原鉱業所
		10. 19	林 昇一郎	シベリアの金属資源
		12. 8	楡井 久	地盤環境から地質環境への意識の転換 《応用理学部会との合同講演会》

		2. 8	福屋 義次	ブリヂストン パイプコンベアの紹介ビデオ
			武内 譲二	本邦鉱業の現状と将来展望
H6	1994	4. 25	武内 譲二	本邦鉱業の現状と将来展望 PART2
		6. 14	西村 茂樹	海の汚れについて
		7. 11	(見学会)	工業技術院 資源環境技術総合研究所
		8. 9	竹中 俊三	原子燃料サイクル
		10. 11	山田 清	骨材の品質改善について
		11. 4-5	(見学会)	山梨地方の防災と地質、白根町荒井建材碎石場、山梨宝石博物館、信玄堤、荒川ダム、ナウマン象化石出土地、ぶどう園 《応用理学部会との合同見学会》
		12. 8	矢部 五郎	戦後50年のドイツ 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 14	辻村 洋太郎	栗駒山周辺における地熱水のめぐみ（地熱発電、天平の産金、細倉鉱山）と群発地震の関係
H7	1995	4. 11	立田 栄三	地熱発電における地熱と熱水利用
		6. 21	西村 光一	多自然型の川作り
		7. 24	(見学会No. 1)	東京湾横断道路 川崎トンネル 浮島南工事
		8. 1	(見学会No. 2)	東京湾横断道路 川崎トンネル 浮島南工事
		8. 8	中川 義徳	上下水道と資源
		10. 17	長田 享一	わが国の石油開発の現状
		10. 27-28	(見学会)	浅間山火山周辺の地質、噴火災害、軽井沢測候所、追分資料館、東人火山観測所、星野温泉自家発電所、鬼押し出し、 鎌原火砕流観音堂、天明泥流、金島の浅間石 《応用理学部会との合同見学会》
		12. 8	天満 照郎	機器分析の話 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 13	町田 和美	直下型大都市大地震に思う：中国唐山大地震を参考に
H8	1996	4. 23	高橋 博	東海地震の可能性
		6. 4	(見学会)	大叶鉱山、石灰石焼成設備、出流川石積堰堤
		6. 11	神山 弘章	高レベル放射性廃棄物の宇宙処分
		8. 13	篠崎 貞行	クリーンコールテクノロジーと石炭灰の有効利用
		10. 22	岡崎 孝雄	インドネシア事情：石炭産業
		11. 21	(見学会)	つくば 日本工営(株)中央研究所、地図と測量の科学館 《応用理学部会との合同見学会》
		12. 16	石原 透	環境マネジメントシステム：現状と将来 《応用理学部会との合同講演会》
		1. 31-2. 1	(見学会)	県立生命の星・地球博物館、温泉地学研究所、箱根子湧園地熱発電所、黒田秀隆氏講演、大涌谷、火山博物館、外輪山、十国
		2. 18	松本 孝雄	わが国の石灰石鉱業
H9	1997	4. 8	結城 久三	ドイツの石炭鉱業
		5. 27	(見学会)	相模原市大深度地下空間開発技術、小型地下ドーム総合施工実験場
		6. 10	木内 昭男	セラミック及び金属粉末の噴霧造粒
		8. 12	高島 清	天然素材による環境汚染対策
		10. 7	五艘 章	東京アクアライン（横断道路）の建設技術
		9. 12	正路 徹也	資源から見た国際覇権と紛争 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 10	児島 郁男	火薬の推進力を利用した杭の載荷試験方法
H10	1998	4. 14	坂井 哲郎	地下構造物における通気網解析技術の適用
		5. 19	(見学会)	茨城鹿島 日本コールオイル研究センター、瀝青炭液化パイロットプラント
		6. 9	山本 紀夫	排水性舗装のあり方と望まれる骨材
		8. 11	高島 清	インドネシアの地質と石灰石資源
		10. 13	須山 千秋	低品位炭の改質技術
		12. 11	山口 梅太郎	世界の鉱業事情 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 9	田中 柔	地下水の保全について
H11	1989	4. 13	神保 健二郎	深海底鉱物資源開発の将来性
		5. 25	(見学会)	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）青梅トンネル南工事
		6. 8	坂 光二	石油開発技術の進歩とコスト低減の動向
		8. 10	畠山 正樹	30年に亘る石炭需給のあれこれ
		10. 12	大和田 秀二	資源リサイクリングと分離技術
		11. 9	中島 敬史	マレーシア・サラワク沖における天然ガス探鉱
		12. 10	角田 史雄	北関東の地変 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 8	山本 紀夫	砂の現況と今後の課題
H12	2000	4. 11	山梨 晃一	エネルギーの未来はどうなるか
		6. 13	小野寺 次郎	中国における選炭技術協力について
		8. 8	中藤 剛	非鉄金属鉱山の採掘法について
		10. 10	水野 正勝	石炭地下ガス化技術の変遷とウクライナの情勢
		12. 12	樋口 澄志	世界の炭層ガス開発・利用の現状と展望 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 13	高橋 毅	アメリカ・カナダの骨材生産
H13	2001	4. 10	藤田 稔	オイルサンド油からクリーン燃料の製造研究
		6. 12	長田 享一	国内における石油・天然ガスの探鉱の現状と将来展望：北海道における大規模ガス田の発見
		8. 14	村田 逞詮	新時代が求めるITコンテンツは何か？
		10. 30	(見学会)	越後長岡 帝国石油 探査・生産現場、 石油資源開発 掘削現場
		12. 10	ロバート J・ゲラー	地震予知の可能性 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 12	佐野 初雄	モンゴル国の地下資源開発の現状と将来
H14	2002	4. 9	山村 政彦	世界の石油・天然ガス開生産の現状とその技術
		5. 14	(見学会)	産業技術総合研究所 エネルギー利用部門
		6. 11	増田 信行	世界の非鉄金属鉱業の現状と技術の動向
		8. 13	匂坂 和夫	中南米諸国における環境保全に係る国際協力の事例
		10. 8	松坂 総一郎	土壌・地下水汚染の調査・浄化対策の現状と動向

		12. 10	島田 莊平	コールベッドメタン開発とCO ₂ の炭層固定 《応用理学部会との合同講演会》
		1. 21	正路 徹也	楽観的資源と悲観的資源
		2		※都合により取り止め
H15	2003	4. 8	桜田 稔	垂直ボーリングによる立坑掘削技術
		5. 13	(見学会)	新キャタピラー三菱㈱相模事業所、相模興業㈱華嚴工場
		6. 10	坂 光二	メタンハイドレートの開発技術とその現況
		8. 12	小野寺 次郎	炭鉱技術の海外移転の現状とその将来
		9. 16	池田 茂	土壌汚染対策法の施行をふまえて
		10. 14	吉江 隆	厳しい地熱環境下での坑内掘鉱山操業
		12. 15	山地 憲治	国際的地球温暖化対策の最近の動向 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 10	上田 英之	公害防止技術の開発と適用
H16	2004	4. 13	山本 紀夫	IS09000の導入について
		5. 11	(見学会)	古河機械金属㈱ 足尾事業所
		6. 8	草田 隆人	菱刈鉱山について
		8. 10	山本 晃司	石油開発における岩石力学の役割
		9. 21	佐野 初雄	東シベリアエネルギー開発・21世紀の展望
		10. 21	錦織 宣夫	油層モデリング技術について
		12. 15	内野 健一	事故・ヒューマンファクターズ 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 8	豊島 利仁	最近の選鉱技術の動向について
H17	2005	4. 12	鈴木 裕	鉱山保安法の改正について
		5. 10	(見学会)	菱鉱建材㈱八王子事業所
		6. 14	境 大学	重金属汚染発生土の効率的な対策とリサイクル
		9. 13	本間 勝	定置式燃料電池
		10. 11	高橋 毅	CO2の炭層固定化技術開発
		12. 13	小平 桂一	宇宙を探る「すばる」望遠鏡 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 14	杉田 隆	石灰石鉱業の現状と課題
H18	2006	4. 11	水野 正勝	ベトナムの炭鉱への技術移転
		5. 23	(見学会)	産総研メタンハイドレート研ラボ
		6. 13	松本 孝雄	21世紀の資源、バイオマスについて(栃木県の例)
		9. 12	坂 光二	海洋構造物への新素材の応用の現状
		10. 10	近藤 比呂志	都市鉱山の開発と資源循環社会
		12. 12	山富 二郎	資源開発の最近の動向 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 13	今井 哲男	銅鉱石のヒープリーチング
H19	2007	4. 10	部会	技術士シンポジウム
		5. 15	(見学会)	東京エコリサイクル㈱
		6. 12	山本 晃司	炭酸ガスの炭層固定化技術開発のその後
		9. 11	長田 享一	オイルサンド開発がオイルピークの救世主になるか！
		10. 09	北山 一美	高レベル放射性廃棄物処分事業の現状とNUMOの取組
		12. 18	太田 辰夫	レアメタルとその取り巻く環境 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 12	丸山 眞策	資源の有効利用
H20	2008	4. 8	羽藤 正実	衛星リモートセンシング技術の現状
		5. 13	(見学会)	関東天然瓦斯開発㈱茂原鉱業所、合同資源産業
		6. 10	澤田 賢治	資源獲得競争を巡る最近の動向
		9. 9	末廣 能史	石油に替わる新燃料について
		10. 14	鳥飼 誠之	日本原子力学会における技術倫理への取組
		12. 9	浦辺 徹郎	海底熱水鉱床は陸上資源の救世主たりうるか 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 10	松川 一宏	土壌汚染対策法施行から5年：土壌汚染と資源工学の接点を探る
H21	2009	4. 14	山本 晃司	メタンハイドレートの資源開発：在来資源との違いから
		5. 12	(見学会)	日本原子力発電㈱東海発電所
		6. 9	島田 莊平	石炭の地下ガス化の現況
		9. 8	安部 正憲	CCSが地球を救う：二酸化炭素の地中貯留について
		10. 13	三橋 春夫	骨材資源の現状と課題
		12. 12	高島 正之	排他的経済水域における海洋資源開発が切り開く日本の未来 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 9	大木 久光	非鉄金属資源を取巻く環境の急変と資源の再開発
H22	2010	4. 13	上木 隆司	鉱業廃棄物からの金属回収
		5. 11	(見学会)	相模興業㈱
		6. 15	長田 享一	石油資源の枯渇問題と私達に課せられた課題
		9. 14	小山 研也	環境調和型資源開発を目指して
		10. 12	水野 正勝	技術士倫理要綱の改定について
		12. 18	新妻 弘明	低炭素社会へ向けての地熱開発の動向 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 8	斎藤 紳一郎	セメント産業におけるリサイクルの現状と技術開発
H23	2011	4. 12	境 収	LPG地下備蓄の現状と課題
		5. 31	(見学会)	太平洋セメント㈱熊谷工場
		6. 16	出口 剛太	炭層メタンガスのローカルエネルギーとしての活用
		9. 6	中村 威一	鉱山開発と選鉱分野における環境保全
		10. 11	富田 新二	海外炭鉱における炭鉱技術協力
		12. 17	大久保 聡	レアアースを巡る最近の動き 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 14	高杉 真司	地中熱ヒートポンプシステム設計の概略
H24	2012	4. 10	仁多 英夫	世界記憶遺産山本作兵衛「炭鉱画」

		5. 14	(見学会)	地中熱ヒートポンプシステム
		6. 5	増田 信行	海底熱水鉱床の探鉱および採掘技術
		9. 12	大東 威司	太陽光発電の今後の展開と課題
		10. 9	出口 剛太	石炭地下ガス化に関する技術開発の現状 ※都合により中止
		12. 15	藤井 靖彦	原子力発電所の過酷事故と汚染水処理 <応用理学部会との合同講演会>
		2. 12	松永 齊	天然ゼオライトの有効な活用事例
H25	2013	4. 9	青柳 敏行	掘削概論：豊穡なる近くの資源を探る
		5. 18	(見学会)	葛生石灰砕石㈱
		6. 11	香村 一夫	東日本大震災に遭遇して、環境を学ぶ者ができる復旧・復興支援とは
		9. 10	加藤 正之	自然環境復元活動から見えてくる共生社会の姿とは
		10. 15	上木 隆司	レアメタルについて
		12. 14	成田 賢	地質コンサルタント業界の展望 <応用理学部会との合同講演会>
		2. 4	丸山 眞策	循環型社会形成の法体系
H26	2014	4. 15	曾我 正美	石油の探究：シェール革命時代におけるわが国石油精製業の国際競争力確保
		5. 16	(見学会)	東京ペットボトルリサイクル㈱
		6. 3	伊藤 博隆	専門技術を活かした環境への社会貢献
		9. 2	山本 道靖	鉱物・資源産業における持続可能な発展と企業の社会的責任について
		10. 8	(見学会)	新江東清掃工場、中防管理事務所
		12. 19	辰市 祐久	小型家電リサイクルの現状 <応用理学部会との合同講演会>
		2. 3	山本 陽一	天然ガス利用技術（GTL技術）
H27	2015	4. 7	須郷 高信	新しい環境浄化材料の開発
		5. 19	(見学会)	㈱昌和プラント厚木工場、田中貴金属工業㈱湘南工場
		6. 9	上野 修一	水素エネルギーと水素社会
		9. 8	清水 俊二	再エネを取り巻く現状と太陽光発電の概要・導入事例
		10. 8	河村 裕二	国内休廃止金属鉱山の管理状況と課題
		12. 12	太田 健一郎	持続型社会を担う水素エネルギー <応用理学部会との合同講演会>
		2. 9	出口 剛太	石炭地下ガス化の技術の現状
H28	2016	4. 12	曾我 正義	世界におけるアジア地域の割高石油コストの主要因とその是正方策
		5. 18	(見学会)	いわき市石炭・化石館
		6. 7	吉村、高橋	高レベル放射性廃棄物の地層処分について
		9. 6	片山 賢	小規模地熱開発の現状と課題
		10. 11	古川 博文	現場から見た石炭開発・利用技術の変遷
		12. 17	野田 徹郎	我が国の地熱発電の現状と課題 <応用理学部会との合同講演会>
		2. 7	水野 正勝	中国のエネルギー事情と課題、対応について
H29	2017	4. 11	松本 裕之	釧路コールマインの経過と今後の展望
		5. 16	(見学会)	高萩炭礦資料館、日鉱記念館
		6. 13	天満 則夫	メタンハイドレート資源開発に係る生産手法開発の現状について
		9. 5	澤田 賢治	鉱業の歴史と事業の多角化
		10. 10	福島 朋彦	海底鉱物資源開発に伴う環境影響調査の現状と課題
		12. 16	岡田 誠	地球最後の地磁気逆転を記録した「千葉セクション」の研究とその意義 <応用理学部会との合同講演会>
		2. 6	境 大学	JICA長期専門家派遣―キルギスでの技術協力
H30	2018	4. 10	藤貫 秀宣	地熱開発における掘削技術
		5. 16	(見学会)	国立研究開発機構海洋研究開発機構（JAMSTEC）：横須賀本部
		6. 12	村上 健一	大型銅鉱山選鉱プラント建設～操業立上げの実例
		9. 4	目次 英哉	金属資源産出国への技術紹介活動―日本の異分野技術で鉱山操業を効率化する試み―
		10. 9	小笠原 忍	家電リサイクルの現状と三菱電機グループ内循環の推進
		12. 15	澤田 賢治	日本の資源問題 <応用理学部会との合同講演会>
		2. 5	米田 直司	再生可能エネルギー（地熱・地下熱）及び未利用エネルギー（廃熱）を活用した融雪システムの開発・普及の取り組み
H31/R1	2019	4. 9	佐野 修	地殻応力測定技術開発研究について―地震発生予測を目指して―
		5. 14	(見学会)	㈱ハイパーサイクルシステムズ 千葉工場・本社工場（廃家電・電子機器の資源リサイクル）
		6. 11	古野 正憲	チリの銅鉱床と銅の集積機構―構造浸食の重要性―
		9. 3	田中 宏史	選鉱の経験と最近の技術
		12. 7	野口 伸	無人トラクターの開発 <応用理学部会との合同講演会>
		2. 4	彌富 信義	鉱山跡地を利用した太陽光発電について
R2	2020	4		※4月例会・講演会・技術士第二次試験合格者祝賀会 は新型コロナウイルス（COVID-19）のため中止
		5. 13	(見学会)	日鉄鉱業㈱野木工場 ※同上理由で延期、10月に再延期（開催方法検討中）
		8. 22	大木 久光	ペルー国ワンサラ鉱山（標高4千m）での浮遊選鉱、都市鉱山の活用例について
		9. 8	曾我 正美	精油所の危機等
		10. 13	山口 健一郎	企業経営と環境情報開示―Sustainable Development Goalsについて
		12. 19	富山 眞吾	現場の研究を通じて鉱山から学ぶこと <応用理学部会との合同講演会>
		2. 2	杉山 大志	豪雨も台風も猛暑も地球温暖化のせいではない―データで温暖化フェイクニュースを見破る
R3	2021	4. 6	村上 正徳	マイニングにおける施工の安全性と生産性の追求 ～鉱山機械の大型化、自動化・デジタル化・電動化の取組～
		6. 8	山形 定	地域主導で進める自然エネルギー利用社会への転換 ～電力だけでなく、熱も動力も～
		9. 7	高橋 洋	金鉱脈の探しかた～熱水鉱床生成における冷水トラップ機構～
		10. 12	岡部 徹	貴金属・レアメタルのリサイクルの現状と意義 ～ 一般には常識と思われるデマや誤解を解説～
		12. 10	志賀 信彦	物理探査の紹介―資源探査へのドローン技術の応用について―
		12. 25	釜井 俊孝	宅地の防災学―都市と斜面の近現代― <応用理学部会との合同講演会>
		2. 7	丸田 昭輝	カーボンニュートラルに進む世界と水素・E-Fuel・アンモニアの役割
		3. 8	曾我 正美	我が国製造石油・石油化学両製品のCO2削減効果 ～製油所原料のCO2リサイクル～

R4	2022	4. 12	梅田 靖	サーキュラー・エコノミーの実現に向けたライフサイクル工学の役割
		6. 7	市川 貴之	カーボンリサイクルの実状と普及に向けた課題～循環資源化に必要な連携と取り組み～
		7. 19	杉浦 敏廣	ロシア軍のウクライナ侵攻／背景と世界のエネルギー問題への影響
		9. 11	岡部 徹	持続型社会に不可欠なレアメタルの最近の状況と環境破壊 《金属部会との合同講演会・ワークショップの基調講演》
		10. 4	深井 英之	JOGMECの概要とJOGMEC法改正について～未来の脱炭素社会における経済と環境の好循環の実現に向けて～
		12. 17	関根 泰	カーボン・リサイクルの最新技術動向 《応用理学部会との合同講演会》
		2. 7	北島 隆次	廃棄物・リサイクル関連法規と現場での法的リスクについて
R5	2023	4. 4	萩原 利幸	地球温暖化の現状と苫小牧CCS実証試験
		5. 16	水谷 努	プラスチック資源循環を巡る最近の政策の動向
		5. 26	(見学会)	関東天然瓦斯開発㈱、K&Oヨウ素㈱等
		7. 11	大林 勇人	「自律分散型」社会・技術のフロンティア ～web3、DAO、DeFiなど
		8. 20	堂道 剛	色を演出し、現代生活を支える色材技術とは 《化学：化学・繊維・金属各部会との合同講演会》
			八木 健吉	雁皮紙に学ぶイノベーション 《繊維：化学・繊維・金属各部会との合同講演会》
			吉村 泰治	身近な銅 古代から現代へ 《金属：化学・繊維・金属各部会との合同講演会》
			大木 久光	地球温暖化CO ₂ 要因懐疑論 《資源・環境：化学・繊維・金属各部会との合同講演会》
		9. 12	矢野 雄高	松田産業の資源循環事業について (※部会会員限定)
		12. 1	下島 公紀	CO ₂ 海洋・海水中隔離と海底下・海水CCSの技術 (貯留CO ₂ の漏洩検知技術)
		12. 16	笠谷 貴史	海底資源探査の動向 (仮) 《応用理学部会との合同講演会》
		1. 22	佐々木 真二郎	地域循環共生圏ー地域が主役！みんなで取り組む環境まちづくり
		3. 12	板倉 賢一	カーボンニュートラルな石炭資源活用について
R6	2024	5. 7	所 千晴	サーキュラーエコノミー実現に必要な分離・濃縮技術
		6. 18	(見学会)	INPEX長岡市南関東ガス田、直江津LNG基地
		8. 11	枝村 正芳	繊維 (アパレル) 業界のサステナブル取組《繊維：化学・繊維・金属各部会との合同講演会》
			伊藤 雄二	化学品安全～ケミカルリサイクル、脱炭素化社会、SDG s まで《化学：化学・繊維・金属各部会との合同講演会》
			河村 裕二	循環をデザインする：素材産業におけるサステナビリティ戦略と環境保全への取り組み《資源・環境：化学・繊維・金属各部会と 会》
			新井田 有慶	廃棄物のリサイクル～東京都及び江東区のリサイクル事例紹介《金属：化学・繊維・金属各部会との合同講演会》
		10. 8	中田 俊彦	脱炭素をドライブさせる、エネルギーデザインという理論と実践
		12. 14	柴山 知也	高潮・津波がわかる～沿岸災害のメカニズムと防災 《応用理学部会との合同講演会》
		3. 24	清水 孝太郎	循環経済型ビジネスとそれを支えるISO国際標準化動向ー持続可能性への配慮と経済安全保障の観点から
R7	2025	5. 15	山本 晃司	エネルギー安全保障と脱炭素の両立を目指したJOGMECの取り組み